

2017年4月3日

2017年度入社式(社長挨拶要旨)

富士通テン株式会社(本社:兵庫県神戸市 代表取締役社長:山中 明)は、グループ全体で96名の新入社員を迎え、本日午前9時から本社にて2017年度入社式を行いました。社長挨拶の要旨は下記のとおりです。



社長挨拶の様子

● 社是「誠は天の道なり」を胸に刻み仕事に取り組んでください

「誠は天の道なり」。当社の社是です。社名に付けた「テン」というのは富士通テンの源流である川西機械製作所の初代社長が商標として制定したものです。「テン」は最高/至上を意味する「天」であり、「商売は誠実に」「商品は至高無上のものを作ろう」という想いが込められています。私たちは「誠」を大切にして働き、お客様/社会に貢献します。是非この社是を胸に刻み、これから仕事に取り組んでほしいと思います。

● 最先端の技術・商品を世に送り出す DNA を受け継いでください

みなさんは川西機械製作所の創立から97年、富士通テンの設立から45年を迎えた、歴史と伝統ある会社に入社されました。この長い歴史において2人のノーベル物理学賞受賞者を輩出していますが、このような会社は他にはありません。事業規模においては今日、富士通テン設立時と比べて売上で約90倍、人員で約10倍にまで拡大しました。そのあゆみにおいては常に時代の最先端を行く技術をベースに最先端の商品を世に送り出すとともに、世界初の商品も数多く生み出してきました。

2014年秋にはクルマとクラウドがつながる世界を「*Future Link*。(フューチャーリンク)」というコンセプトで発表し、昨年はドライブレコーダーをカーナビに内蔵した「録ナビ」を発売しました。

長い歴史を通じて最先端の技術・商品を世に送り出すというDNAが脈々と受け継がれています。

《2 頁に続く》

● ドライバーにとって最高のパートナーとなるクルマの実現を目指します

現在私たちの生活は、あらゆるものがネットワークにつながるIoTの時代を迎えています。クルマもただの移動手段ではなく、ネットワーク社会のひとつのモビリティになっていこうとしています。

そのような中、自動車業界はクルマとICTの融合による自動運転やコネクティッドカー、電動化に向けた技術革新が急速に進展しており、当社では「人とクルマ、社会とクルマをつなぎ、自由で快適なモビリティ社会の実現に貢献する」という事業ビジョン「VISION2022」を掲げ、その実現に向けた取り組みを強化しています。

これは、情報・通信技術を活用して自動車を変革し、乗れば乗るほどドライバーに優しくなる、誰よりもドライバーをよく知っている、ドライバーにとって最高のパートナーとなるクルマの実現を目指す、という考えです。

みなさんの前には挑戦のしがいに富む無限の可能性が広がっています。新たな時代を切り拓いていってください。

● 我々の仲間として一緒に挑戦を続け、共に未来を切り拓いていきましょう

自分で考え抜いて答えを見つける。知恵を出し続けてほしい。そして自ら行動する。言われたことだけをすれば良いわけではありません。

そして、仕事を通じて一人ひとりがお客様/パートナー様から信頼される。仕事そのものが信頼され商品が信頼される。それが会社の信頼につながり富士通テンという会社が社会から認められ信頼を得て仕事を続けることができる。このサイクルの担い手となってください。

歴史と伝統ある富士通テンで、我々の仲間として一緒に挑戦を続け、共に未来を切り拓いていきましょう。

みなさんのフレッシュな発想とそれに伴う行動力に大いに期待しています。

以上